



県児連通信

発行者 栃木県児童館連絡協議会
 会長 海老原 朋子
 発行日 令和4(2022)年3月13日

令和4年度も、もうすぐ目の前にやってきました。プログラムに参加する2, 3歳の子どもたちに「シュッとしても大丈夫？」とスプレーボトルを差し出すと、いつもの事のように何の抵抗もなく小さな手のひらを広げてくれる姿に、複雑な心境に……。また、来年度の事業についてのスタッフの話し合いでも、「〇月はぎりぎり実施できるかな?」「感染症対策は〇〇をすれば実施できるよね。」など感染症の傾向と対策のような考えも身に付いてきていて、新型コロナウイルス感染症との付き合いの長さを改めて感じている今日この頃。今年度も当協議会各種事業へ協力いただきまして、誠にありがとうございました。次年度も、どうぞよろしくお祈りします。



「おりがみ作品展」開催しました

開催期間：2022年1月15日(土)～3月13日(日)

2年連続で新型コロナウイルス感染症拡大期に会期が重なり、会期や会場を変更しながら開催している「おりがみ作品展」。今年度は、会期中にまん延防止等重点措置が発出され、来館者が減少したため会期を延長(2月20日までを3月13日へ)しました。参加して下さった館は昨年度よりも2館多い、下記の9館の児童館。テーマ部門「私たちの自然」に5点、フリー部門に5点の計10作品が集まり、個性やアイディアあふれる作品に会場が彩られ、来館者の目を楽しませてくれました。会場には、手を触れないようチェーンポールを設置していましたが、見学者の皆さんはチェーンから身を乗り出すような姿勢で作品ひとつひとつじっくりに見入っていたり、家族で身を寄せ合って楽しそうに見ている姿が見受けられました。ご協力いただきました、館の皆様ありがとうございました。来年度のテーマは「あそび」です。



おりがみ作品展の全体の様子



会期延長期間中はエレベーターの回りを囲むように展示しました

展示した作品は、科学館HP内の県児連のページからご覧いただけます。

<https://t-csm.jp/diary/3448>

★参加児童館(順不同)

さくら3Jホール(栃木市)、清流児童館(日光市)、かたおか児童館(矢板市)、こどもの広場いしばし・国分寺駅西児童館(下野市)やわらぎ児童館(益子町)、壬生町児童館(壬生町)、児童館きのこのもり・児童館みんなのひろば(高根沢町)



「第2回 県児連役員会」を開催しました

下記の通り、「第2回 県児連役員会」を開催しました。来年度は新しい役員の方々にバトンタッチとなります。旧役員の皆様、2年間お世話になりました。

- ・開催日：2022年2月25日(金)
 - ・会場：栃木県子ども総合科学館 会議室
 - ・出席者：県児連役員4名 事務局2名
 - ・内容：
 - ・令和3年度の事業の進捗状況と決算見込みについての報告。
 - ・次年度の事業計画と予算案についての協議
 - 「遊具貸出事業」では、新たにミュージックベルやエアボールゲームセットなどを購入する事になりました。
 - ・県児連表彰委員会：今年度は、下記のとおりです。
 個人表彰：足利市梁田こども館 小澤ヨシエ氏
 佐野市南児童館 藤生京子氏
- ※表彰式は次年度の総会時に行います。受賞の皆さまおめでとうございます。

★4月の役員会の予定

新旧役員会及び監査：4月8日(金)・県児連総会：4月19日(火)

共催で開催します



あそびの連携事業「忍者道場」

県児連と子ども総合科学館との共催事業である「あそびの連携事業」。

先日、来年度のお申込みを開始しましたが、残り1枠(3月13日現在)となりました。受付は先着順となっております。お申込みをご検討されている館の方は、お早目にお申込みください。

※この会報紙がお手元に届く前に満員になった場合には、ご了承ください。



県児連協力で行ないました



【演習 C】 地域児童健全育成支援者研修会 「子ども・保護者理解と適切なかかわり」

過去の研修後のアンケートでもご要望の多かった発達障がいに関する研修会。今回の研修会では「困った子」＝「困っている子」と捉え、行動の背景や本人の思い考え、一人ひとりに寄り添った支援が大切ということを変更して学びました。また、保護者とのかかわりでは、保護者の気持ちも受け止め傾聴し、お互いに子どもの支援に対するアイデアを出し合ったり、うまくいったことを共有することが連携する際のポイントとのお話がありました。さらには、物事の受け止め方を変える「リフレーミング」を行なったり、考え方も「イラショナル・ビリーフ（非合理的な思い込み）」を「ラショナル・ビリーフ（合理的な考え）」に変えることで支援がスムーズになるとも、参加者からは、「日々の活動にすぐに実践できる内容だった。」「聴くことの大切さを改めて感じた。」などの感想をいただきました。

- ・開催日時：2022年1月21日（金） 10：00～12：00
- ・会場：栃木県子ども総合科学館 多目的ホール
- ・対象：児童厚生員および児童館で活動をとにする支援者（ボランティア・母親クラブ・子育て支援員など）
- ・参加者数：17名
- ・講師：栃木県総合教育センター 教育相談部
指導主事 揖斐 俊博氏
- ・内容：（1）子どもの行動の原因や背景を考える
（2）保護者とのかかわり方について
（3）ロールプレイ：2人1組で指導員役と子ども役になったの演習



「とちぎのじどうかん展」ご協力ありがとうございました

皆様からご協力いただきました、工作キットを配布する【工作のテイクアウト feat. じどうかん】、児童館活動写真展【じどうかんですまいるきゃっち】を同時で行なう、「とちぎのじどうかん展」もいよいよ終盤となってまいりました。

【工作のテイクアウト】では、配布時に『〇〇市の〇〇児童館のみなさんが作ってくれました』と伝えながら手渡しをすると、『うちの近くだね』や『遊びにいつてみたいね』などの声が聞かれます。【すまいるきゃっち】も同様で、保護者だけでなく、子どもたちもじっと見入る姿が見られ（子どもたちが見てくれることは、実は担当も想定外でした）、『これ（あそび）楽しそう』という親子の会話も聞こえてきます。

まん延防止重点等措置期間となるなど、感染拡大時期の実施となりましたが、第3日曜日の家庭の日（子どもの入館料が無料）には県内各地からの来館者が多く、【工作のテイクアウト】では、1日300名を超える子どもたちに作キットを手渡すことができました。ここまで、1400個（3月13日現在）ほどの工作キットが、子どもたちの手元に届いています。3月20日（日）で会期終了となりますが、最後まで「じどうかん」の活動を少しでもPRしていきます。

最後になりましたが、ご協力いただきました参加児童館の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

※「とちぎのじどうかん展」について、科学館HP [児童館関係] > [じどうかんにつき] に【工作のテイクアウト】の様子を掲載しております。ぜひ、そちらもご覧ください。



7～8種類の工作セットに「どれにしようかな～」



ご自分のお子さんが登場している方も来ていただきました



県児連加盟館リニューアルのお知らせ

宇都宮市のうつのみや表参道スクエア6階にある「ゆうあいひろば」。その中にある、子どもたちのあそび広場と青少年エリアは令和3年9月から改修に伴い現在休館しておりますが、4月にリニューアルオープンの予定です。詳しくは、<https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/kurashi/kosodate/jidokan/1004099.html> をご覧ください。



編集・発行

栃木県児童館連絡協議会事務局（栃木県子ども総合科学館・育成課内） 編集・発行：米田
TEL：028-659-5555 FAX：028-659-5353